

企画一資料3

令和4年度
3月補正予算
事業概要説明資料

企画経済委員会

所 属	商工労働部産業デジタル推進課		
係 名	企画連携係	内線	3722

新 スマート工場実証ラボの整備

1 事業費	85,891 (0 → 85,891)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	42,945	委託料 66,940
	県債	42,900	工事請負費 18,951
	一般財源	46	

2 背景・事業目的

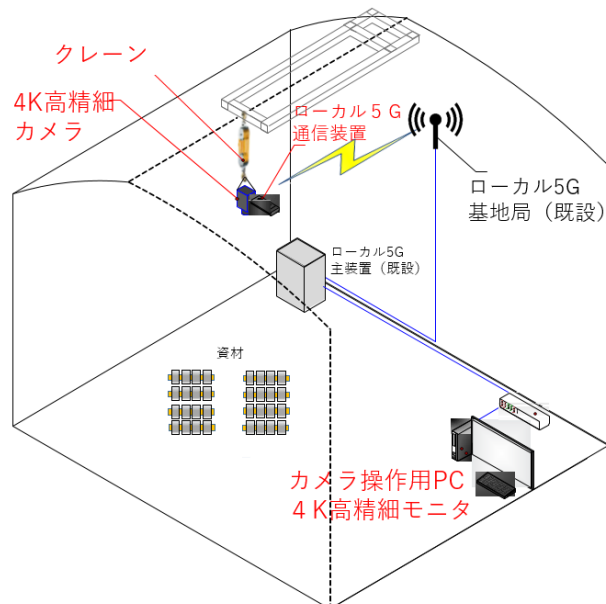
企業の競争力の強化のためには、デジタル技術を活用した工場の自動化や遠隔化による生産性向上が必要不可欠となっている。

そのため、テクノプラザに整備されているローカル5Gの大容量・高信頼・低遅延といったネットワーク環境のメリットを生かし、中小企業単独ではコスト的に取り組むことが困難なスマート工場（※）化の実証環境を整備する。

3 事業概要

スマート工場実証ラボの整備（85,891千円）

高精細カメラを活用した遠隔での在庫確認や製品検査、無人搬送車を自動制御する実証環境をテクノプラザ本館に整備し、県内製造業等のスマート工場化の取組みを促進する。



高精細カメラ在庫確認システムのイメージ図（実証ラボの一例）

※スマート工場

工場内の生産設備や工作機械などの機器や設備をネットワークに接続させ、IoT（あらゆるモノをネットワークに接続すること）やAI（人工知能）といった新しいデジタル技術を活用することで、生産性向上や品質管理の効率化を図る工場のこと。

（款）7 商工費 （項）1 商工費 （目）(5) 企業立地対策費
 （明細書事業名）○ 企業誘致等活動費
 テクノプラザ振興費